



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社昭和システムエンジニアリング  
コード番号 4752 URL <http://www.showa-sys-eng.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 裕一  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 八木 克己

TEL 03-3639-9051

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,029	△11.4	173	△26.4	177	△26.2	112	△25.1
28年3月期第2四半期	3,420	28.7	235	38.5	240	35.7	150	35.8

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第2四半期	24.20	—	—	—
28年3月期第2四半期	32.31	—	—	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
29年3月期第2四半期	5,158	51.7	2,667	51.7		
28年3月期	5,341	49.3	2,634	49.3		

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 2,667百万円 28年3月期 2,634百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円	
28年3月期	—	0.00	—	17.00	円	17.00
29年3月期	—	0.00	—	—	円	—
29年3月期(予想)	—	—	—	12.00	円	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
通期	6,800	0.9	410	1.7	418	1.4	274	40.6	円	58.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	4,810,000 株	28年3月期	4,810,000 株
29年3月期2Q	153,863 株	28年3月期	153,863 株
29年3月期2Q	4,656,137 株	28年3月期2Q	4,656,137 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行による金融緩和策等により、企業収益および雇用環境は緩やかに回復基調で推移したものの、英国のEU離脱、中国や新興国の景気減速と先行き不透明な状況は続いております。

情報サービス産業におきましては、前年度までのプラス成長の主な要因であった官公庁・地方自治体での支出拡大および金融機関や製造・流通業におけるシステム統合・刷新案件などの大規模プロジェクト案件の需要が一段落し、今年度は売上高が前年同期に比べ僅かながら減少基調となっております。

このような状況の中、当社は営業力および技術者の育成を強化し、顧客のニーズに対応してまいりました。しかしながら顧客の情報化投資の姿勢はより一層慎重となり状況は厳しくなりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高3,029百万円(前年同期比11.4%減)、営業利益173百万円(前年同期比26.4%減)、経常利益177百万円(前年同期比26.2%減)、四半期純利益112百万円(前年同期比25.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① ソフトウェア開発事業

ソフトウェア開発事業は、売上高2,971百万円(前年同期比11.9%減)、売上総利益397百万円(前年同期比9.8%減)となりました。

#### ② BPOエントリー事業

BPOエントリー事業(業務代行サービス)は、売上高57百万円(前年同期比21.5%増)、売上総損失0百万円(前年同期は売上総損失5百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ50百万円減少し、1,725百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は36百万円(前年同四半期は39百万円の使用)となりました。

収入の主な要因は税引前四半期純利益177百万円、退職給付引当金の増加75百万円、売上債権の減少95百万円であり、支出の主な要因は賞与引当金の減少84百万円、仕入債務の減少66百万円、未払消費税等の減少26百万円、法人税等の支払125百万円であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7百万円(前年同四半期は328百万円の使用)となりました。

主な要因は有形及び無形固定資産の取得による支出75百万円と差入保証金の回収による収入62百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は78百万円(前年同四半期は55百万円の使用)となりました。これは配当金の支払によるものであります。

② 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は4,080百万円(前事業年度末比207百万円の減少)となりました。主な要因は現金及び預金、売掛金、その他に含めた繰延税金資産が減少したことによります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は1,077百万円(前事業年度末比23百万円の増加)となりました。主な要因は有形固定資産が増加したものの、投資その他の資産のその他に含めた差入保証金が減少したことによります。

その結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は5,158百万円(前事業年度末比183百万円の減少)となりました。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は666百万円(前事業年度末比292百万円の減少)となりました。主な要因は買掛金、未払法人税等、賞与引当金が減少したことによります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は1,823百万円(前事業年度末比75百万円の増加)となりました。これは退職給付引当金が増加したことによります。

その結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は2,490百万円(前事業年度末比217百万円の減少)となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は2,667百万円(前事業年度末比33百万円の増加)となりました。主な要因は四半期純利益112百万円と配当金の支払79百万円による利益剰余金の増減であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期業績予想につきましては、平成28年8月10日に発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,375,703	3,325,673
売掛金	696,489	601,107
仕掛品	55,602	38,234
その他	160,431	115,600
流動資産合計	4,288,226	4,080,616
固定資産		
有形固定資産	128,512	193,263
無形固定資産	3,785	3,705
投資その他の資産		
繰延税金資産	511,746	534,297
その他	409,728	346,158
投資その他の資産合計	921,474	880,456
固定資産合計	1,053,772	1,077,425
資産合計	5,341,999	5,158,041
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	234,424	167,570
短期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	131,920	57,131
賞与引当金	348,330	264,204
その他	234,547	167,521
流動負債合計	959,223	666,428
固定負債		
役員退職慰労未払金	60,973	60,973
退職給付引当金	1,687,487	1,762,884
固定負債合計	1,748,460	1,823,858
負債合計	2,707,684	2,490,286
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	630,500	630,500
資本剰余金	553,700	553,700
利益剰余金	1,678,610	1,712,136
自己株式	△61,126	△61,126
株主資本合計	2,801,683	2,835,209
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	12,011	11,923
土地再評価差額金	△179,378	△179,378
評価・換算差額等合計	△167,367	△167,454
純資産合計	2,634,315	2,667,755
負債純資産合計	5,341,999	5,158,041

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,420,466	3,029,197
売上原価	2,985,075	2,631,661
売上総利益	435,391	397,536
販売費及び一般管理費	200,233	224,491
営業利益	235,157	173,045
営業外収益		
受取利息	633	498
受取配当金	1,723	2,508
受取家賃	930	930
受取手数料	457	429
保険解約返戻金	1,609	—
雑収入	189	321
営業外収益合計	5,542	4,687
営業外費用		
支払利息	30	26
固定資産除却損	—	39
営業外費用合計	30	65
経常利益	240,670	177,667
特別利益		
固定資産売却益	204	—
特別利益合計	204	—
税引前四半期純利益	240,874	177,667
法人税、住民税及び事業税	95,219	47,443
法人税等調整額	△4,800	17,543
法人税等合計	90,419	64,986
四半期純利益	150,455	112,680

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	240,874	177,667
減価償却費	6,177	5,280
賞与引当金の増減額(△は減少)	△93,603	△84,125
退職給付引当金の増減額(△は減少)	71,502	75,397
受取利息及び受取配当金	△2,356	△3,007
支払利息	30	26
有形固定資産売却損益(△は益)	△204	—
売上債権の増減額(△は増加)	△83,195	95,381
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,038	17,367
その他の流動資産の増減額(△は増加)	198	4,664
仕入債務の増減額(△は減少)	22,425	△66,854
未払消費税等の増減額(△は減少)	△85,738	△26,040
未払金の増減額(△は減少)	△44,220	△21,622
その他の流動負債の増減額(△は減少)	9,128	△16,519
その他	△887	932
小計	45,169	158,548
利息及び配当金の受取額	2,631	3,134
利息の支払額	△58	△43
法人税等の支払額	△86,917	△125,502
営業活動によるキャッシュ・フロー	△39,175	36,137
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,300,000	△1,300,000
定期預金の払戻による収入	1,000,000	1,300,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△487	△75,415
有形及び無形固定資産の売却による収入	283	—
投資有価証券の取得による支出	△25,677	△783
貸付けによる支出	△3,910	—
貸付金の回収による収入	1,325	1,449
差入保証金の差入による支出	△90	—
差入保証金の回収による収入	43	62,188
その他	△157	5,119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△328,671	△7,440
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△55,611	△78,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,611	△78,727
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△423,458	△50,030
現金及び現金同等物の期首残高	1,995,290	1,775,703
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,571,831	1,725,673



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。